



目次

◆事務局からのお知らせなど..... 1	■会員数..... 3
■愛鳥週間のeBirdキャンペーンと、関連イベントのご報告..... 1	
■Strix -野外鳥類学論文集- 39号発行のお知らせ..... 2	

◆事務局からのお知らせなど

■自然保護室より

■愛鳥週間のeBirdキャンペーンと、関連イベントのご報告

●キャンペーン「愛鳥週間！身近な鳥を観察してeBirdに投稿しよう」の結果

昨年に引き続き、5月10～16日の愛鳥週間にキャンペーン「愛鳥週間！身近な鳥を観察してeBirdに投稿しよう」を実施しました。期間中、好きな時にバードウォッチングをして、その結果をeBirdに投稿いただくもので、全国から360名の参加があり、1900件のチェックリストが投稿されました。アプリ「Merlin 野鳥識別」に投稿された方も含めると、参加者数は529名にのびりました。

都道府県ごとのチェックリストの投稿数は、東京都が367件で最も多く、次いで北海道、沖縄県、千葉県、神奈川県順になりました。（表1）。全国で確認された種は合計280種（※）で昨年の233種を上回りました。都道府県別では北海道が140種で最も多く、続いて東京都が128種、石川県97種の順となりました（表2）。石川県は、探鳥地舩倉島からの観察情報が多く投稿されたため、種数上位に入ったと考えられます。記録が多かった種は、スズメ、ヒヨドリ、ハシブトガラス、シジュウカラ、ツバメなど身近な野鳥が上位に入りましたが（表3）、渡りの季節で、キビタキやオオヨシキリといった夏鳥や、キアシシギ、キョウジョシギ、チュウシャクシギのような渡りの途中で立ち寄るシギ・チドリ類、キャンペーンの観察対象種となったカワセミも、100件以上報告されました。

※種数はeBirdで使用されている分類による

表1. 都道府県別投稿数

	都道府県	チェックリスト数
1	東京都	367
2	北海道	209
3	沖縄県	148
4	千葉県	125
5	神奈川県	124
6	山形県	84
7	長野県	79
8	愛知県	75
9	茨城県	64
10	兵庫県	60

表2. 都道府県別種数

	都道府県	種数
1	北海道	140
2	東京都	128
3	石川県	97
4	神奈川県	94
5	新潟県	93
6	長野県	88
7	愛知県	86
8	千葉県	84
9	三重県	80
10	兵庫県	78

表3. 記録が多かった種

	種名	チェックリスト数
1	スズメ	848
2	ヒヨドリ	802
3	ハシブトガラス	757
4	シジュウカラ	660
5	ツバメ	655
6	キジバト	603
7	ムクドリ	593
8	カルガモ	534
9	ハシボソガラス	532
10	アオサギ	499

●入賞者について

期間中に投稿された方のうち、観察対象種の身近な野鳥5種（スズメ、シジュウカラ、ヒヨドリ、アオサギ、カワセミ）全て見た方10人に「サントリー特別賞（賞品：サントリーホールディングス株式会社提供の育林材の時計）」、7日間毎日チェックリストを投稿した方10人に「日本野鳥の会賞（賞品：日本野鳥の会オリジナルグッズ・アホウドリの水筒）」をさしあげました。どちらも該当者多数のため、抽選の結果、各10名を当選とさせていただきます。

●グローバル・ビッグ・デーの結果

5月13日（土）は、eBirdを利用する世界一斉野鳥カウント「グローバル・ビッグ・デー」でした。世界199カ国から、58,700人以上が参加し、投稿されたチェックリストの数は約150,000件、観察された種数は7,636種にのぼりました。日本からは390件のチェックリストが投稿され、214種が報告されました。また日本は、昨年に引き続き、eBird利用者数の増加率、チェックリスト投稿数の増加率ともに世界でベスト10に入り、eBirdの利用が拡大していることがわかりました。

※詳しくはこちら

https://ebird.org/japan/news/20230513_gbd_report

●オンラインセミナー「身近な野鳥を見分けて、eBirdに投稿しよう」を実施

身近な鳥を識別するポイントと、eBirdへの投稿方法を解説するオンラインセミナーを実施し、147人の参加がありました。参加者からは「野鳥を観察するポイントがわかった」「今回登録したので、ぜひeBirdを始めたい」という感想が寄せられました。

●対面講座「グローバル・ビッグ・デー！eBird野外体験講座」を実施

5月13日に、当会主催では初めて、対面でのeBird講座を実施しました。当日はあいにくの雨でしたが、国立科学博物館付属自然教育園を会場に15人の参加がありました。座学でeBirdの概要とモバイルアプリの使い方を解説した後、フィールドを歩きながら見た・声を聞いた鳥をアプリに記録し、投稿するまでを体験し

ていただきました。まとめの時間に、投稿したデータの見方や修正方法、グローバル・ビッグ・デーの記録にどのように反映されているかを紹介しました。参加者からは「アプリの使用方法を丁寧に教えてもらい、今後自分でも使えそうだと思った」「今までは見た鳥をノートに記録していたが、アプリに記録する方法を知りオンタイムで（忘れる前に）いつも持ち歩くスマホから記録できて便利だと思った」「他の場所でもこのような体験講座を実施してほしい」という感想が寄せられました。



eBird 野外体験講座の様子

●eBird 体験講座にご興味のある方はご相談ください

eBirdの使い方を支部会員に紹介したい、支部主催でeBird体験講座を実施したい等のご希望がありましたら、ご相談ください。時期やプログラムにもよりますが、財団事務局からの講師の派遣や資料の提供などを検討させていただきます。

ご連絡先：自然保護室 担当 葉山/岡本
電話：03-5436-2633（月～金 10:00-17:00）
メール：ebirdjapan@wbsj.org

（自然保護室／岡本裕子）

■Strix -野外鳥類学論文集- 39号発行のお知らせ

『Strix』（ストリクス、1982年創刊）は、当会が発行する研究誌で、鳥類の生態、繁殖や飛来、行動などの観察記録、総説、自然保護活動の実践例などを掲載する和文誌です。

このたび39号を、上田恵介立教大学名誉教授（編集長、当会会長）、三上かつら氏（副編集長、バードリサーチ）のご協力を得て、発刊しました。

39号は、原著論文5編、短報12編、観察会報告1編を含め18編もの新たな論文が掲載されています。長期にわたってノビタキの生息状況、クマタカの観察結果をまとめた報告や支部の皆さんによるカモ科調査の報告のほか、初記録や初繁殖の報告、新たな渡りルートや音声分析を用いた渡り時期の報告、鳥類相のモニタリング、食性や糞分析の結果など、しっかりとした野外観察に基づき充実した内容となっています。ぜひ、この機会にご購入いただき手に取っていただければと

思います。

<https://www.wbsj.org/activity/conservation/publications/strix/strix39/>

[Strix 39 号掲載論文]

【原著論文】

- ◎木曾谷のクマタカ —23 年間の観察(松原秀幸)
- ◎和歌山県の河川中流域に生息するイソヒヨドリ *Monticola solitarius* の食性(上出貴士)
- ◎玉川上水の杉並区に敷設された大型道路が鳥類群集に与えた影響(大塚恵子・鈴木浩克・高槻成紀)
- ◎北海道におけるノビタキの繁殖期の分布(藤巻裕蔵)
- ◎北海道渡島半島西部の鳥類 1. 落葉広葉樹林における繁殖期の鳥類相(玉田克巳)

【短報】

- ◎宮城県におけるクロサギ *Egretta sacra* の繁殖初記録 (佐藤賢二・鈴木卓也)
- ◎九州地方におけるコムシクイ *Phylloscopus borealis* の渡り時期(黒田治男・渋谷朗・林田博・吉谷将史・所崎聡・加藤銀次)
- ◎東京都におけるクマタカの繁殖成功率(山口孝・御手洗望)
- ◎宍道湖に渡来したトモエガモ個体群の採餌場所と糞分析(佐藤仁志・西海功・樋口亜紀・野津登美子・池淵康夫・伊藤勉・梅田由美子・関谷哲夫・福岡章・森下拓也)
- ◎宮城県におけるヤドリギツグミ *Turdus viscivorus* の初確認(荒井颯太・池田泰宏・宮本竜也・田谷昌仁)
- ◎徳島県におけるオオムシクイの秋期の渡り(籠島恵介)
- ◎滋賀県立大学キャンパスにおける造成直後の 2003 年から 2014 年にかけての鳥類相の変化(数内喜人・大見智之)
- ◎秋に九州西部を南下するサシバ(井上賢三郎・矢次智浩・松下彩二)
- ◎青森県八戸市弁天島におけるウミネコの繁殖状況と今後の保護(成田章・富田直樹)
- ◎カムリウミスズメ *Synthliboramphus wumizusume* 繁殖地としての伊豆諸島鳥島島的重要性(田尻浩伸・手嶋洋子・山本裕)
- ◎鳥取県におけるオオチドリ *Charadrius veredus* の初記録(市原農太郎・桐原佳介)
- ◎日本におけるコシジロイソヒヨドリの写真を伴う 3 例目の記録で雌の初記録となる観察(平岡考・永井真理子・永井次郎)

【観察会報告】

- ◎日本野鳥の会秋田県支部による冬季におけるカモ科調査 (1993 年-2022 年) の結果について(佐々木均・佐藤公生・加藤正敏)

□最新刊のお申込み方法：

当会ホームページ、メール、ファックスのいずれかよりお申し込みください。

日本野鳥の会 Strix 検索

E メール strix@wbsj.org

ファックス 03-5436-2635

※バックナンバーも当会ホームページよりご購入いた

だけます。

<https://www.wbsj.org/activity/conservation/publications/strix/strix-d/>



『Strix』39 号

頒布価格 ¥3,300 円(税込)

送料 ¥370(1 冊につき)

□お問い合わせ先

日本野鳥の会 自然保護室

(E メール：strix@wbsj.org TEL：03-5436-2633

電話受付時間 10:00~17:00)

(自然保護室／山本裕)

■総務室より

■会員数

6 月 1 日時点の会員数は 33,529 人で、先月と比べ 5 人増加しました。

5 月の入会・退会者数(表 1)をみますと、入会者数は退会者数より 13 人多くなっています。

5 月 1 日付の入会者数は 205 人で、前年同月の入会者数 221 人と比べ 16 人減少しました。

また、5 月末日付の退会者数は 192 人で、前年同月の退会者数 185 人と比べ 7 人増加しました。

なお、会員の増減は入会者数と退会者数のほかに、会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活した人数によって決まります。

表 1. 5 月の入会・退会者数

	入会者数		退会者数	
個人特別会員	9	人	9	人
総合会員(おおぞら会員)	41	人	48	人
本部型会員(青い鳥会員)	24	人	39	人
支部型会員(赤い鳥会員)	95	人	55	人
家族会員	36	人	41	人
合計	205	人	192	人
年度累計	450	人	※	

※会費切れ退会となった後に会費が支払われ会員として復活する方がいらっしゃるため、退会者数の年度累計は、実際の退会者数とずれた数字となります。
 ※上記集計は速報値になります。

●都道府県および支部別会員数

野鳥誌贈呈者数を除いた数を掲載します。

大分県	219 人	1 人
宮崎県	229 人	-2 人
鹿児島県	341 人	3 人
沖縄県	85 人	-1 人
海外	9 人	0 人
不明	25 人	-4 人
全国	33,529 人	5 人

備考：不明は転居先が不明の会員を示します。

表2. 都道府県別の会員数（6月1日時点）

都道府県	会員数	対前月差
北海道	1,595 人	3 人
青森県	219 人	0 人
岩手県	337 人	0 人
宮城県	531 人	1 人
秋田県	244 人	2 人
山形県	220 人	1 人
福島県	516 人	-2 人
茨城県	835 人	-6 人
栃木県	805 人	11 人
群馬県	596 人	-1 人
埼玉県	1,960 人	-7 人
千葉県	1,461 人	-2 人
東京都	4,651 人	13 人
神奈川県	3,116 人	-9 人
新潟県	342 人	-3 人
富山県	189 人	0 人
石川県	266 人	3 人
福井県	217 人	-2 人
山梨県	249 人	2 人
長野県	826 人	4 人
岐阜県	475 人	-3 人
静岡県	1,209 人	-3 人
愛知県	1,566 人	1 人
三重県	443 人	-1 人
滋賀県	321 人	8 人
京都府	802 人	-4 人
大阪府	1,880 人	-11 人
兵庫県	1,259 人	2 人
奈良県	458 人	1 人
和歌山県	209 人	3 人
鳥取県	221 人	0 人
島根県	211 人	3 人
岡山県	554 人	3 人
広島県	584 人	0 人
山口県	322 人	0 人
徳島県	324 人	-2 人
香川県	191 人	1 人
愛媛県	352 人	1 人
高知県	104 人	0 人
福岡県	1,183 人	4 人
佐賀県	211 人	-2 人
長崎県	214 人	1 人
熊本県	353 人	-2 人

表3. 支部別の会員数（6月1日時点）

支部	会員数	対前月差
オホーツク支部	235 人	-1 人
根室支部	74 人	1 人
釧路支部	137 人	0 人
十勝支部	176 人	1 人
旭川支部	78 人	1 人
滝川支部	39 人	-1 人
道北支部	24 人	0 人
江別支部	24 人	0 人
札幌支部	294 人	0 人
小樽支部	55 人	0 人
苫小牧支部	161 人	2 人
室蘭支部	122 人	-1 人
道南檜山	67 人	0 人
青森県支部	113 人	1 人
弘前支部	110 人	1 人
秋田県支部	234 人	2 人
山形県支部	210 人	1 人
宮古支部	68 人	0 人
もりおか	148 人	0 人
北上支部	92 人	1 人
宮城県支部	497 人	2 人
ふくしま	129 人	-3 人
郡山支部	146 人	-1 人
白河支部	20 人	0 人
会津支部	51 人	-1 人
奥会津連合	5 人	0 人
いわき支部	90 人	0 人
福島県相双支部	15 人	0 人
南相馬	20 人	0 人
茨城県	735 人	-1 人
栃木県支部	796 人	7 人
群馬	521 人	3 人
吾妻	44 人	-1 人
埼玉	1,457 人	-5 人
千葉県	886 人	-1 人
東京	2,619 人	2 人
奥多摩支部	754 人	7 人
神奈川支部	2,046 人	-10 人
新潟県	264 人	-2 人
佐渡支部	33 人	0 人
富山	169 人	0 人
石川	244 人	1 人
福井県	214 人	-2 人

長野支部	400 人	3 人
軽井沢支部	152 人	-3 人
諏訪支部	236 人	0 人
木曾支部	20 人	0 人
伊那谷支部	73 人	1 人
甲府支部	184 人	3 人
富士山麓支部	51 人	0 人
東富士	56 人	0 人
沼津支部	132 人	0 人
南富士支部	218 人	3 人
南伊豆	40 人	0 人
静岡支部	313 人	-3 人
遠江	357 人	-2 人
愛知県支部	1,195 人	-2 人
岐阜	451 人	-4 人
三重	387 人	-2 人
奈良支部	393 人	2 人
和歌山県支部	218 人	1 人
滋賀	310 人	5 人
京都支部	749 人	-3 人
大阪支部	1,739 人	-4 人
ひょうご	967 人	1 人
鳥取県支部	236 人	0 人
島根県支部	202 人	3 人
岡山県支部	527 人	3 人
広島県支部	511 人	-1 人
山口県支部	300 人	1 人
香川県支部	153 人	1 人
徳島県支部	348 人	-2 人
高知支部	93 人	0 人
愛媛	324 人	3 人
北九州支部	235 人	0 人
福岡支部	538 人	2 人
筑豊支部	214 人	0 人
筑後支部	144 人	-1 人
佐賀県支部	259 人	-3 人
長崎県支部	199 人	0 人
熊本県支部	344 人	-2 人
大分県支部	206 人	1 人
宮崎県支部	219 人	-2 人
かごしま県支部	317 人	2 人
やんばる支部	48 人	0 人
西表支部	50 人	3 人
	28,324 人	7 人

備考：支部別の会員数の合計は、都道府県別の会員数の合計と異なります。

これは、本部型（青い鳥）会員や支部に所属されていない個人特別会員が支部別の会員数に含まれないためです。

（総務室／三浦岳志）

◆支部ネット担当より

いつも支部ネット通信をご愛読いただきありがとうございます。巣立ったヒナたちの声が時折、事務所の外から聞こえてくる季節となりました。野鳥をはじめ、様々な生き物が命を繋ぐ季節。そっと見守りたいと思います。

日本野鳥の会

支部ネット通信

2023年6月号・通巻257号

◆発行

公益財団法人日本野鳥の会 2023年6月26日

◆担当

総務室 総務グループ

五十嵐真/林山雅子/松井華奈/原元奈津子/萩原洋平
〒141-0031

東京都品川区西五反田 3-9-23 丸和ビル

TEL : 03-5436-2620

FAX : 03-5436-2635

E-mail : sibu-net@wbsj.org